

平成 29 年度 第 1 回 市長と市民とのくつろぎトーク

「市民の方には今の多摩市はどう映っているか」

平成 29 年 8 月 27 日（日）10 時 00 分～11 時 30 分

会場：永山公民館 学習室

参加者：12 人（男性 7 人、女性 5 人）

司会（秘書広報課長）

ただいまから市長と市民とのくつろぎトークを開催します。本日は皆さま大変お忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。

まず初めに市長と市民とのくつろぎトークについての説明をさせていただきます。

この事業は、在住、在勤、在学の市民の生の声を、様々な機会の中で、市長が直接伺い、政策への参考にしていくために実施するものであります。

平成 22 年度に「市長と市民との対話会」として始まり、市内の企業や大学、公民館事業の実行委員の方々など、多くの方にご協力いただき行ってまいりました。

本年度第 1 回目である今回は、市民の方を対象に無作為抽出と公募で参加者を募集し、市長と市民とのくつろぎトークと題して行います。限られた時間ではございますが、どうぞよろしくお願いいたします。

それではまず、市長から挨拶をお願い致します。

市長

本日は、皆さま大変お忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。

私も 7 年市長をやってきましたので、色々なところで顔を合わせた方もいて安心しております。7 月から 9 月はお祭りが多いです。昨日も午後は、ゆう桜ヶ丘のところで夏祭りがあり、諏訪 4 丁目や諏訪神社でも夏祭りがありました。幸い、この週末は雨に降られることなく、大勢の子どもたちで賑わっていました。

本日は、先達て開かれた行政評価市民フォーラムにも参加していただいた方もいるようで、この対話会にも参加して頂いてありがとうございます。

今、パルテノン多摩の大規模改修は非常に市民の方の関心が高いテーマです。行財政改革や公共施設の適正配置などについて説明会を開くとベルブホールが満杯になるくらいです。なかなか厳しい意見を頂くことも多いです。一方で、現実的にこれから先の未来をどうしていくのか考える必要があります。健幸まちづくりや子どもたちを巡る状況。落ち着いた議論も大事です。日本は、超高齢社会になり人口減少していきます。この問題については、特効薬はないと思います。みんなで知恵を絞っていくことが必要です。

それでは、これからくつろぎトークを始めさせていただきます。まずは、自己紹介で、お住まいの場所、参加のきっかけ、新聞をとっているか。たま広報が届いているかどうかについてお話を頂きたいと思います。

*各自自己紹介の概略（発言順）

- Aさん 地域：一ノ宮3丁目、多摩市居住歴：1年
- Bさん 地域：馬引沢1丁目、多摩市居住歴：64年
- Cさん 地域：聖ヶ丘1丁目、多摩市居住歴：37年
- Dさん 地域：永山2丁目、多摩市居住歴：40年
- Eさん 地域：一ノ宮4丁目、多摩市居住歴：3年
- Fさん 地域：永山2丁目、多摩市居住歴：35年
- Gさん 地域：落合4丁目、多摩市居住歴：40数年
- Hさん 地域：南野3丁目、多摩市居住歴：15年
- Iさん 地域：諏訪1丁目、多摩市居住歴：10年程度
- Jさん 地域：豊ヶ丘2丁目、多摩市居住歴：29年
- Kさん 地域：和田3丁目、多摩市居住歴：8年
- Mさん 地域：鶴牧2丁目、多摩市居住歴：26年

※娘さまと一緒に参加

Aさん

聖蹟桜ヶ丘駅の近くに住んでいます。近隣の小学校で教師やっています。今回は、面白そうだと思って参加しました。新聞は取っていません。たま広報も読んでいません。多摩市に住んで1年になります。

Bさん

多摩市の乞田で生まれて、今は馬引沢に住んでいます。多摩市のことは、年齢や立場によって良いという人や生活しにくいという人がいるように感じます。本日、配布されているウォーキングマップですが、非常に魅力的だと思います。しかし、多摩市民でどれくらいの人がこれを持って歩かれるのか、何回ぐらい歩いているのか疑問です。理由としては、コースの入口まで車で行くと駐車場がないので、バスを利用しなくてはいけない。最初は良いが変化がなくて面白みがあまりない。木や草がぼうぼうに伸びている。ベンチが少ない。気の利いたカフェがない。もっと大事なことは、私は多摩市に詳しい方ですが、遊歩道を歩いていると迷ってしまう。地名や矢印はあるが、位置関係がわからなくなります。

何でもあるのはいいのですが、これから10年、20年先の維持管理費も考えなくてはいけません。本当に維持できるのか、收拾つかなくなるのではという思いがあります。他所と比較するのはいけないですが、お金を出しても入りたい場所がないと感じています。また、安心して女性が歩けるのかということもあります。

新聞は取っています。たま広報も読んでいます。

Cさん

多摩市に住んで37年になります。子育てに合わせて、子どもを土に触れさせて育てたいと思い、世田谷から引っ越してきました。今は、子どもは巣立って、孫の世話をしていると思っています。新聞は取っています。たま広報も全て目を通させてもらっています。今は、孫のママ友の駆け込み寺のようなこともやっています。

Dさん

多摩市に住んで40年になります。心配事は、子どもが多摩市に戻ってきてくれるかということです。ウォーキングマップに載っている道ですが、拝見したところ、若いときに全部歩いたことがあります。今はこの年齢になって難しいところもありますが、また歩きたいと思う場所もいくつかありました。新聞とたま広報は読んでいます。

Eさん

行政評価市民フォーラムにも参加させていただきました。多摩市に住んで3年になります。多摩市とは昔から縁があり、祖父が多摩市に住んでいました。父が相続した祖父の土地に家を建てて住んでいます。無作為抽出で申し込み、一度外れたのですが公募枠で復活して参加できることになりました。参加した理由は、非常に楽しそうだということです。新聞やニュースを見るのは好きなのですが、新聞はデジタルなのでたま広報は家に届いていません。見たことはあります。

Fさん

永山2丁目に住んでいます。多摩市に住んで35年ぐらいになります。多摩センターのパルテノン多摩の大規模改修、図書館本館について関心があります。早くできれば良いとは思っているのですが、なかなかできないようで進捗状況がいまいわかりません。新聞とたま広報は読んでいます。

Gさん

落合4丁目に住んでいます。多摩市に住んで40数年になります。多摩市はとっても良いところだと思っています。新聞とたま広報は読んでいます。

Hさん

行政評価市民フォーラムにも参加させていただきました。南野に住んでいます。居住歴は、住み始めたのは2003年からなので15年になります。はじめは賃貸住宅でしたが、分譲マンションに引っ越しました。子どもは小学校3年生です。普段興味があるのは、南多摩尾根幹線道路についてです。尾根幹に広い中央分離帯がありますがもったいないと感

じます。また、事故も多く渋滞もありますし、雨も貯まりやすいです。なんとかならないのかなとは思いますが、最近、道路を拡充するという話も聞いています。道路を拡充するのは良いのですが、まだ子どもが小さいので渡るときが心配です。

地域コミュニティの交流について感じていることは、新しく入ってきた人と昔から住んでいる人との対立です。対立があっても繋がりがあれば、助け合うことも出来るがそういう糸口もない状態です。また、分譲住宅や戸建住宅でないと、コミュニティもなにもない状態です。そういう人との関係をどう築いていけばいいのか。

新聞は取っていません。たま広報はデジタルで読んでいます。

Iさん

諏訪1丁目に住んでいます。多摩市に住んで10年ほどになります。以前は、南大沢に20年住んでいましたが、子どもの成長にしたがって、豊ヶ丘、諏訪と移動しました。行政評価市民フォーラムにも参加しました。こういう機会は初めてで、有難く思います。

新聞は取っていません。今年取るのをやめました。ウェブでニュースを見ています。紙媒体は好きなのですがあえて紙の新聞を取る必要はないかなと思購読をやめました。たま広報も新聞購読を止めてから読んでいません。

Jさん

行政評価市民フォーラムにも参加させていただきました。市民にこういう場を提供していただいた事に感謝します。

多摩市に住んで29年になります。豊ヶ丘2丁目に住んでいます。結婚してすぐに宝蔵橋の近くに引っ越してきて、多摩市を転々としました。子どもの生きる力を育む目的で児童作品展に25年関わってきました。多摩市の自然環境は素晴らしいと思います。健幸まちづくりは、先駆的な取り組みで、市民目線の行政に感じます。他市と比較しても手厚く環境整備してくれていると感じます。行政だけでなく、私も一市民として関わり、1800以上ある区市町村のモデルになるような多摩市になるため、お手伝いができればと思います。新聞は取っていません。デジタルで見えています。たま広報は毎回楽しみに拝見させていただきます。

Kさん

和田に住んでいます。多摩市に住んで8年になります。府中市で40数年間仕事をしています。普段こういった催しに参加したことはなかったのですが、今回参加させて頂きました。新聞は読んでいません。たま広報はデジタルで読んでいますし、個別配布もしてもらっています。

Mさん

多摩市に住んで26年になります。一緒に来ているこの子は、42歳になりますが障害があります。たま広報を見て、これからの多摩市を元気にという文面を見て、「ここには障がい者が入っていない」と感じました。障害のことを話すと皆さん白けてしまうかも知れないですが、表面上は手を取り合っというと、いざ手を伸ばすと差別を感じます。そういうことがいけないことだとわからない人もいます。言葉では美しいことを言うが、こういうことを何度も経験してきました。少しでもわかろうという心。みなさんにも考えてほしいことがあります。日本一でなくても、表彰されなくてもやっていることがいかに楽しくできているかが大事。話は聞いてくれるが頭に入っていない。私にとって生きにくいと感じます。新聞とたま広報は読んでいます。

市長

皆さんから一通り意見を聞いて、多摩村の時代から住んでいる人、住んで一年の人。全国から多摩市に来ていただいていると改めて感じました。

今、Mさんからありましたが、昨年4月から障害者差別解消法が施行されました。ニュータウンは、段差や山坂が多いです。Dさんがおっしゃったように、元気なうちは歩けるけど年を取ると歩きたくても歩けない場合もあります。障害には種類が色々ありますが、エレベーターのない5階建て団地もまだあるので、健康な方でも厳しくて、なんとか1階に移れないかという声も頂きます。また、都立多摩桜の丘学園、島田療育センターなど障害がある皆さんが通う学校や入所する施設の数は他の自治体よりかなり多いです。

Mさん

数の問題でなく、中身が大事なんです。

Bさん

私もそう思います。施設の子どもたちが朝と晩に散歩しているのですが、はっきり申しますと、冷たい言葉ですが、近所に住んでいる方の「散歩をさせないでくれ」という言葉を耳にします。これはやっぱりおかしいです。Mさんの気持ちはわかりませんが、なんとなく悲痛なものを感じる。何が一番ということではなく、何となくですがわかります。

Mさん

当たり前、普通に、今やっていることが楽しい。競争社会。オリンピックで1番を取る。こういう考えは違うと思います。その考えではこの子は生きられない。

羊水検査について言えば、これは異常があったら殺せということだと私は思います。この子を殺していいのかずっと考えてきました。この子は本当に素晴らしいです。この子がいるから私がいるのです。この子のおかげで気が付くものがたくさんある。一番が良い。お金持ちが良いという考えは受け入れられない。一番弱い立場の人が、何気なく過ごせる

まちが良いまちです。落合を朝1時間散歩します。段差があつたり山道ですが、どこに行かなくても緑があつて良いところがいっぱいあります。自分で探せば良いところがいっぱいあります。

市長

私は、共生社会、ノーマライゼーション、差別のない社会を求めるのは当然のことだと思います。健幸まちづくりのことを伝えるときにいつも話していますが、多摩市版地域包括ケアシステムというのは、障害がある方も一緒にというのが前提です。障害のある方も一緒にという考えは、多摩市が初めて主張しています。ご高齢になると認知症発生のリスクが高くなります。地域の中で障害のある方が、健やかにのびのび生きられる社会は誰もが幸せに生きられる社会だと思っています。

Mさん

この子も認知症の方と同じようなところがあります。障害がある人も人権はみんな一緒です。でも感性などが違います。学校でも社会でも違うところ、同じだけど違うところもあります。違うところを探すことが楽しい。皆が同じことをやるのが良いというのは違います。賛成できません。さっき言った羊水の話ですが、私が言ってもどうにもなりません、それが原因にあると思います。

Gさん

私も身障者です。多摩市には色んな施設あります。総合福祉センター5階にプールがあつて、私はあれはすばらしいと思います。通う前はひざが痛く歩くのが大変でしたが、リハビリをマンツーマンでやっていただきました。他の市にもこういったものがあるかは知りませんがすばらしいと思います。この水浴訓練ですが、利用限度があるので、治るまでは使えるようにしてほしいです。訓練前は、家が5階にあり上れなかったが、水浴訓練のおかげで階段が楽になりました。ありがとうございます。

市長

ありがとうございます。そういう声は他でもいただきます。水浴訓練だけでなく、プールに行政の補助がないのかという声も頂きます。総合福祉センターの隣は多摩ニュータウン環境組合があり、清掃工場のごみを燃やす余熱で、ボイラーを自前で焚かなくてもプールの水を温水にできています。水浴訓練などニーズが増していると感じていますし、機能訓練で自由に歩けるようになることもとても大事なことだという認識はあります。

Gさん

歩けるようになって、公園に出て行くようになりました。そこで気付いたのがトイレが

少ないということです。仕方ない部分もあるとは思いますが、また、高齢になるとひざが悪い人が多くなりますが、座るトイレがほとんどありません。和式ばかりです。洋式が一つでもあればと思います。公園に洋式トイレがあれば良いのにと皆さん言っています。うちの商店街に洋式があるトイレがあるので、設置した経緯を聞いたら東京都住宅供給公社の管轄ですぐ出来たみたいなんですね。多摩市ではなかなか設置できないということなので、外に出るのを控えている方も多いです。

Mさん

弱い立場の人が楽に住めるまちが一番。若者は元気なのでどうにでもなる。予算がなくても違う予算をどこかから頂いてくるとかできるのではないのでしょうか。私がいなくなった時に、この子がどうなるのか。そういうことを考えるとやっていけません。

市長

Gさんのトイレの話はそのとおりだと思います。多摩市は、46年前にニュータウンを開発しました。公園・学校などの公共施設は、全て和式トイレで整備しました。当時は和式トイレが主流でした。今の時代は、子どもも和式トイレは入れないという声も大きいです。学校では大規模改修のときに、あわせて洋式トイレ化を進めています。トイレ整備がややこしいのは、便座だけ取り付ければ良いのではなく、全部替えないといけないところです。

企画政策部長、トイレの洋式化が終るまで何年ぐらいかかりますか。

企画政策部長

多摩市には、学校施設や公園、公衆トイレに和式トイレが千三百ほどあります。便器だけ取替えても8億数千万円かかります。学校は概ね30年ごとに大規模改修をしているので、それにあわせて洋式トイレ化を進めていく予定です。公園も少しずつ洋式トイレ化を進めています。また、今年度は、多摩センター駅近くの公衆トイレに洋式トイレを設置する予定です。全部をやるには10年程度はかかる見通しですが、財源をそちらにも振り分けられるよう努力していきたいと思っています。

Hさん

交通関係で言わせていただくと、高低差の解消は坂のまちなので難しいと思います。また、多摩市は都市計画のところで南北のラインが弱いと感じますが、モノレールの延伸計画で20年後には南野辺りを通る計画もあるとも聞いています。

息子に発達障害があります。情緒面で少し気になって診てもらったところ認定されました。その後は、通級でサポートしてもらっているのですが、正直、私とあまり変わらないという印象の子どもです。偏向はありますがそれは個性の幅だと自分は思っています。

サポートがなければ問題があるとは考えていませんが良くしていただいています。自分から手を伸ばせばサポートしてくれるのですが、学校でこの子を放っておいたら駄目じゃないかなという子が多く、現に騒いでいる様子も目の当たりにしました。必要な人から手を伸ばさないと難しいこともあると思いますが、体制はあるのに、リソースの割き方がもったいないという印象があります。

Cさん

聖ヶ丘1丁目に住んでいます。遊歩道を挟んで都立多摩桜の丘学園あります。以前、旧校舎のときは子どもの声は聞こえなかったのですが、新校舎は住宅に接しているのです、子どもの声が一日中聞こえます。私は、元気があって良いなと思いますが、高齢になるとすごく気にする方もいらっしゃいます。私は青少年育成活動を15年していましたので、誰にでも挨拶をします。桜の丘学園の子どもにも散歩のときにこちらから挨拶をします。以前は、夏祭りや学校公開があると地域に手紙が届いていたのですが、今はたま広報で知るだけです。「学校公開があるから来てください」など、地域に公開して、子どもと接する機会を作る努力が必要ではないかと思いました。また、散歩道に車椅子で通るスロープありますが、鬱蒼としていて、下から自転車が来ると曲がり角でぶつからないとわからない状況です。何度か市に要請しても対応していただけなかったため、2年前に議員に相談したらすぐに飛んできました。それは良くないと思います。市民が困って通報しているのだから、その時にすぐ動いてほしいと思います。その時も2日ぐらいして職員が来て、現場を見て「これはひどい」といって写真を撮って帰りましたが、結局2ヶ月ぐらい放置されていました。その部分は1年に1回しかやらないから、近所の人で切ってしまうこともあります。剪定をこまめにしたら道も通りやすいし、事故にもならないだろうなと思いました。

市長

聖ヶ丘地域の皆さんにはとても頑張っていただいています。青少協をはじめ、桜の丘学園、コミュニティセンターの祭り、運動会、あらゆるところで桜の丘学園の子どもを一員として受け入れていただいている。バス停のベンチ作っていただいたこともあります。地域の中に桜の丘学園を仲間として一緒にやっていただいているのは、すごいことだと思います。桜の丘学園側も頑張っていると思いますが、Cさんがおっしゃるとおり、あちらはあちらで気にされているのだと思います。

和田の啓光学園も地域を散歩しています。地域の中でお互いを認め合い育み合う。お祭りも宝蔵橋の自治会の皆さんと一緒にやっています。島田療育センターでも地域に開放して花火まつりをやっています。Cさんがおっしゃったスロープは公園緑地課の管轄ですかね。企画政策部長、公園緑地課の職員は何人ぐらいいますか。

Cさん

今回のスロープの管轄は道路交通課でした。「セクションが違うから伝えます」ではなく、自分が受けたときにどう仕事をするのか。受けたからには自分のセクションじゃなくても最後まで責任を持ってやってほしい。一般企業であれば、「やってないじゃないか」と言われたら自分の担当じゃないと言えますか。やっぱり会社の利益に繋がることであれば、みんながコミュニケーションを取ってやっていく。その辺をもう少し考えてほしいです。

市長

木の伐採・剪定に関わる仕事が非常に多いです。市長になってよくわかったのは連日あるんです。特に5～8月はすごい状態です。先ほど職員の数を聞いたのは、いずれも10人なんて数はおらず、数人でやっているということを知ってほしかったからです。

企画政策部長

公園緑地課の職員は十数人いますが、剪定等行う職員は3人です。数が多く、自分たちだけではやりきれないので、業者に言って切ってもらう。いたるところに草木がありますので、それでもなかなか追いつきません。

市長

一年間の予算もあり、おっしゃるとおり全てはカバーできていません。それは私も実感しています。

Cさん

地域でそういったことを仕事でやっていた方もいるし、高齢でも体が動く方もいます。ボランティアなどお金を掛けないでやることもできるのではないのでしょうか。

学校の近くの遊歩道なども鬱蒼としていて、これから暗くなるのが早くなるので、物影から人が出てきたり危険だと思います。連光寺では先週不審者も出たと聞きました。街灯が役に立たないほど鬱蒼としているので、地域でやっていいならやらせていただきたいです。

企画政策部長

アダプト制度というのがあります。登録してもらうとある程度皆さんに管理をお任せすることができます。是非ご相談ください。

市長

グリーンボランティア森木会というものもあります。木の伐採・剪定について初級と中級の講座がありますが、そこで一年間学んでいただき、地域の担当を決めてやっていただ

いています。先ほどもお伝えしたとおり、市だけでは対応が難しいです。例えば、日野市は街路樹が3千本なのですが、多摩市は約1万7千本あるとか桁が違います。世論調査でも緑の多さについては評価されています。一方で掛ける予算も他の自治体とは全然違います。多摩市はおよそ7億円とかそういう単位ですが、他の自治体は数千万円程度です。しかし、それでも追いつかないです。市民の皆さんにもご協力していただきたいと思います。

Jさん

行政評価市民フォーラムに参加させていただきましたが、これだけキャリアのある人がいる多摩市なので、定年後、技術を蓄積したスペシャリストが市内に眠っているはずですが。行政だけでは、財源もマンパワーも限界があるので、そういう人が活用するプラットフォームを作ってはどうか。もうあるかもしれませんが、ボランティアを受け入れる仕組みづくりしてはどうか。高齢化した男性の孤立もボランティアで地域と関わることで、これが生きがいになるということもあると思います。地域社会もいきいきと活性化するのではないのでしょうか。

市長

グリーンボランティア森木会をはじめ、環境セミナー、学校を中心に英語の力、朝の学習の手伝いなど現在もボランティアの方の力を借りてやっています。かつて市では登録制度というのがありましたが上手く活用できませんでした。学校の英語といっても、皆さんでやはり能力に差があります。また、学校は教科書中心の学習になります。集まってもらって研修を受けるということも難しいです。多摩市に住む定住外国人で英語圏に住んでいる人で積極的にボランティアをやりたいという方もいます。しかし、ある程度レベルを合わせていくなど手続きが大変です。今は、国際交流センターに入っただいて、日本語教室や外国語セミナーなどを既にやっただいています。確かに市民の方に見えにくいところもあります。私としては、もっと多くの方に関わっていただきたい、まだまだ私もやれていないと思っています。

Eさん

今日配布していただいたパンフレットのクオリティですが、とても高いと思います。これを持って多摩市を歩かせていただきたいと思います。

最近、子どもが産まれました。子ども・子育てサービスガイドの小冊子ですが、とてもわかりやすかったです。こういった資料や子育て、観光など色んなジャンルの資料が全部置いてある、ワンストップで確認出来る拠点があるといいなと思います。そういったところは今多摩市にはありますか。

市長

わかります。私もそういうところがあったら行ってみたいです。

Eさん

そういう場所があれば、入り口の情報としては、そこに行けば自分の興味があるものが分かると思います。非常に良いパンフレットを作っていただいているので、そういう場所があれば良いなと思います。

企画政策部長

観光分野のことは、市役所、多摩センター駅出張所、聖蹟桜ヶ丘駅近くの商業施設内にある公民館や出張所等があるフロアには、いつもあるように整えました。子育て・福祉まで集約しているのは行政資料室ぐらいしかありません。

Eさん

ここ永山公民館とか、ヴィータの関戸公民館など、スペースとしては可能だと思います。そういうところでいくつかの分野のパンフレットなどが入手できるようにして、困ったところがあれば、そこに行けば情報が入手できる。さらに簡単な相談窓口も一緒にあれば気軽に聞きに行けるとと思います。そこからさらに専門的なとこに繋ぐことができれば、情報発信力も強化されるのではないのでしょうか。

市長

ご指摘のとおり、ネット上でも情報が見ることができて、どこに行けばパンフレットを貰えるのかわかるようにするのは大事なことだと思います。ここ永山公民館には、主に市民活動に関するチラシが置いてあります。本当はあそこの一角に置ければいいのですが、今でも場所が足りないくらいです。聖蹟桜ヶ丘駅出張所や関戸公民館はヴィータの中、多摩センター駅出張所は駅の本屋の奥にあります。様子を見ながらもっと輪を広げないと難しいと思います。

Eさん

ワンストップでいくつかの分野の情報が一つの棚に集まっている。聖蹟桜ヶ丘、多摩センター、永山どこに行っても置いてあると、非常にわかりやすいのかなと思います。

Bさん

トイレの話や緑化の話が出ましたが、トイレで言えば、洋式が良いという人も和式が良いという人いる。先日、花火大会に孫と行ったのですが、和式トイレしかなくて孫がトイレをできませんでした。私は、逆に公共のトイレで洋式というのは苦手な和式がないと困ります。何でも皆同じではないので両方あった方が良いでしょう。また、和式の方が公

園の人も掃除しやすく、洋式は手入れが大変で手間もお金もかかります。

緑化については、伸びるのはイタチごっこになっているということなので、抜本的に省くものは省き、伐採などもやっていかないといけないと感じます。松が谷の辺りを通ったとき、歩道で脳梗塞で人が倒れているのを発見しました。低木や草がなかったから見えましたが、多摩市だと周りに木がいっぱいあるので見えなかったと思います。街路樹の低木は視覚を塞ぐので草が生えないようにするなど、イタチごっこな管理はやめた方が良いのではないのでしょうか。

Mさん

子どもは子どもに学びます。障がい児でもなるべく学校を分けないでほしいです。普通の学校で学ばせるべきです。娘が学校の子に馬鹿とか言われたことがあって、馬鹿だと言った子にそれは違うということを伝えるために、校長先生に相談したら、その子は娘に謝ってくれました。娘もそれで納得したみたいです。障害のあるお子さんも普通の学校に行けるようにしてほしいと思います。

市長

多摩市内では学校、学童クラブ、児童館とも手帳のあるなしで区別はしていません。

国もいじめに関する法律をつくり、多摩市もいじめ対策防止条例をつくりました。けれども法律があればいじめがなくなるわけではありません。いじめはある、差別はあるという認識で対策をしていかななくてはなりません。

Mさん

障害者差別解消法ができましたが、羊水検査については何も記載がありません。それでは意味がないです。これを認めたら差別していいことになってしまうと私は思います。

Hさん

自分が子どものときも特別支援学級はありましたが、差別や心無い言葉が放っておかれる野蛮な状況がありました。でも状況は今も良くないと感じます。

Cさん

私の母には、「産みの親は私だけど、育ての親は社会」だと言って育てられました。若い母親たちが悩んでいたらアドバイスをしています。今は、孫を通しての友達が多くて若い母親から学校現場でこういうことがあって、どうなんだろうかと相談を受けます。きつい部分はありますが、とても満たされています。幸せです。地域の中で声掛けをするしかないかなと思います。学校の中ではそういった教育は積極的にしているように感じます。学校でクラスの人数が少なくなると専科の先生がいなくてヘルプを頼まれることがあります。

す。生徒の中に入ってこうやるのよと教える。そうすると互いにどこであっても挨拶するし、挨拶してくれます。地域の人がそういうところに出て行くことが住みやすいまちに必要なんだと思います。

Kさん

子どもは正直なので、残酷なことをすることがあります。先生に全てを押し付けるのは違うと思います。学校の外は、地域で子どもを育てなくてははいけません。自分が子どもの頃、変なことしていると商店の人によく怒られました。今は、地域の人との関係は薄く、叱らなくてはと思っても、叱ると親が逆に怒鳴り込んでくるような状況です。自治会・青少年協などで地域の人が育てることができるような取り組みが必要だと思います。

Cさん

ごみを捨てている人を見ると声を掛けます。こういうことではいけないと気付いてもらえれば良いのですが。

Gさん

他のところはわかりませんが、学校で昔遊びを教えています。すごく良い取り組みだと思います。要請があって、けん玉やベーゴマ回しを教えています。子どもと触れ合うと自分も若返る気がします。こういう機会をいっぱい設けてほしいです。

上之根通りのモミジバフウがとても綺麗です。他所から友達が来ると外国みたいと喜んでくれます。市の職員の方は、伐採・剪定をするのが大変だと思いますがとてもありがたく思っています。

市長

実は、モミジバフウのところの剪定を、車両の運転手から見えにくい等の理由でやりました。あのときも一本も切ってはいけない、市長は血も涙もないと言われました。木を一本切るのもとても大変です。聖蹟桜ヶ丘の銀行前の桜を何本か切ったときも大変でした。これは乳母車、車椅子が通れないという理由だったので、皆さんにご理解いただけるかと思いましたが、なかなかご理解してもらえませんでした。最後まで丁寧に説明させていただき、最後にはご了解いただいて伐採しました。

Jさん

その当事者です。伐採・切り詰め剪定など苦勞した現場でした。確かに綺麗だと思いますが、あれが限界だと思います。16メートルの交通作業車でも木の中腹までしか届きません。本当に命がけの作業です。もし、災害が起きたときにも危険です。費用も掛かるのでトータルでどうしていくか決めていかなくてははいけません。

Hさん

ふるさと納税ですが、返礼品の良いところを利用しています。多摩市は何かやっていますか。

市長

多摩市は、近隣自治体に比べてふるさと納税をしていただいています。サンリオピューロランドへの入場券など、寄付額によっては特別なインセンティブもあります。また、「ちびまる子ちゃん」や「世界名作劇場」で有名な日本アニメーションのスタジオ見学ができたりと色々やっています。他の自治体への寄付で出て行く税は1億円以上ありますが、寄付金は総額1千万円以上です。多摩市がこだわっているのは、多摩市に来てもらうということです。ゴルフ練習場のゴルフレッスンもそうです。多摩市に来てもらい、途中でお金を使ってもらう。実際に寄付した市に来なくていい返礼品はふるさと納税の問題点だと思っています。

Kさん

ふるさと納税ですが、多摩市はすばらしいと思います。近隣市から食品を集めて送っているだけの自治体もあります。

市長

ふるさと納税の返礼品は市外の方だけが対象で、市民は対象外だということを知らない人も多いです。

秘書広報課長

寄付はどなたでもできますが、返礼品は市外の人だけが対象です。先ほど市長から紹介のありました日本アニメーションのスタジオ見学は、限られた方だけにはなってしまいますが、たま広報1月1日号のお年玉クイズの商品としてプレゼントさせていただき、市民の方にも体験できるようにさせていただきました。

Eさん

市の歳入やどれくらいの財源をどんな事業に使っているのか簡単にまとめたものがあると良いのですが。以前に図書館で予算関係の冊子を見たのですが難しくよくわかりませんでした。

市長

たま広報の3月号あたりに次年度の予算案の特集を毎年掲載しています（※10月20

日号には前年度の決算を掲載)。先ほど冒頭で伺ったところ、半分以上の方は新聞を取っていないのということで、たま広報も見えていないということでした。私もたま広報はモバイルで見ることが多いです。モバイル視聴用に加工されていないので、見づらい部分もあると思います。

秘書広報課長

たま広報ですが、基本は新聞折り込みでの配布になります。その他に、公共施設や市内の駅のスタンドに置いてあるもの、多摩市公式ホームページ、アプリ「マチイロ」で提供しているものがあります。また登録された方には個別配布も行っています。秘書広報課に連絡いただければ、郵送でたま広報をお届けできますので是非ご利用ください。

Dさん

自転車のマナーについてですが、坂でスピードを出し過ぎる人が多いです。バス降車時に知人が自転車と接触事故に遭って怪我をしながら交番に行ったという話を聞きました。多摩市の自転車のマナーが悪いのか、全国的にそうなのかはわかりませんが、自転車に乗る人は歩行者のことを優先してほしいです。あと、バス停の間隔を狭くしてほしいです。

Iさん

確かに京王永山駅の付近はすごいスピードで自転車が降りてきます。高齢者も多いのでぶつかったら大変なことになります。本人に直接言ってもわかる人とわからない人がいるので、インフラの整備で対応してほしいです。

Dさん

先ほどの知人の接触事故の話も相手は気付いているはずなのに、逃げてしまったようです。

Jさん

交通指導をしてほしいです。

Dさん

「何々禁止」というものを設置するのではなく、市民の意識に正しい交通マナーが植え付けられるのが理想ですね。

市長

交通マナーについては、多摩市は特に小中学生に力を入れています。中学校は、毎年3校ぐらいですが、スタントマンを呼んで事故に遭うとどうなのかを実演してもらう「スケ

アードストレート」というものを開催しています。問題は、どちらかという大人たちのマナーが悪い気がするということです。正直に申しますと、なかなか打つ手がない状況です。多摩中央警察署とも話をしていますが、ニュータウンエリアは歩車分離になっています。そのため、遊歩道を自転車が通る。通勤時間帯は特に自転車がが多く、茂みがあると見通しも悪いので危険です。永山駅へ向かう自転車のスピードの出し過ぎについてはよく指摘があります。本来は車道を歩かないといけないのですが、多摩市は歩車分離で道が整備されているため難しいです。

Cさん

私も毎日自転車に乗りますが、車道だと自動車にあおられるんですね。多摩市民は休日しか車に乗っていない人が多いのか、信号を見ていない運転手も多くて困ります。私も高齢の部類ですので、気をつけて自転車には乗っています。車の運転手も気をつけてほしいと思うことがあります。

Dさん

「自転車のベルを鳴らしてはいけない」。あれが言われ始めてから、なかなかこちらに気付かない人が多い。自転車が近くにいるという合図があれば良いのですが。

Kさん

関戸橋から大栗橋に向かう道ですが、あそこの区間は自転車を飛ばしていく人が多いです。

関戸橋の工事ですが、十数年かかるといわれています。多摩市から府中市に渡るところの金属のジョイントがあるところでブレーキを踏むと滑ります。気をつけてはいますが、状況によっては、そこでブレーキを踏まなければいけないときもあり不安です。もっと早く工事を完了させてほしい。

市長

関戸橋の工事は、工事着手をした平成27年度から16年かかるといわれています。橋の工事は渇水期しかできません。現在は工事できない期間です。今は、橋桁ですが、今後は、現在の道路を仮橋へ切り替える工事も行われます。

16年といっても最後の方は仮橋の撤去だけになるので、実際皆さんに影響があるのは13, 4年の間だと思います。

南多摩尾根幹線道路も長期の計画です。稲城から唐木田に至るところは、オリンピック開催までの完成は難しいです。2027年のリニア開通までは、尾根幹線も全線開通を期待しています。

Hさん

いわゆる、ボトルネック交差点のところを立体交差する計画とかはあるのですか。

市長

東京都もオリンピック・パラリンピック等で状況が厳しくて、元々は立体交差にする計画だったのですが、最終的にはどうなるかわかりません。稲城市との市境は、大規模なトンネルを作らないといけませんが、連光寺6丁目は希少生物が生息しており、自然が豊かなので保全していこうとなっている場所です。トンネル開通は相当大規模な工事になると思われます。

Fさん

4、5年前にその話が出たとき、地下にすると水源がなくなるので迂回路を作るという話も出ていましたが、やはりトンネルですか。

市長

私もまだ詳しいことわかりません。トンネルにしても経路がどうなるかもわかりません。東京都で検討しているところです。

Fさん

あそこの現場を見に行っただけですが、100メートル四方の狭いところですよ。小さい絶滅危惧種の生物がいます。

市長

私も希少生物や平家ボタル、ホトケドジョウが生息する場所をこれ以上削りたくないという想いもありますし、議会の一部も反対していました。今は、開発だけではなく環境とどう共生していくのか、生物多様性が重要です。ニュータウンを造った以上、生物を追いやるのではなく共生していかなければなりません。東京都もそれは理解しています。非常に大変な計画を練っていただいています。

多摩モノレールの計画も動き出しています。町田市は市街化調整区域のため、下に道路を通すための用地買収がまだ全部済んでいない状況です。東京都としても優先度の高い事業です。多摩モノレールの事業計画にも1行ですが延伸計画のことが入りました。時間がかかる計画ですが、多摩モノレールが町田に向けて動き出しています。ただし、多摩センターの近くに大きなマンション2棟あるのですが、その間を通る計画なので反対運動も予想されます。「早くしてほしい」「そんなものはいらない」など、色々な立場の市民の方がおりますので難しいです。

Iさん

多摩センター駅周辺は、立派な歩行者専用道路があり、来られる方も非常に便利に感じています。ですが、高齢者にとっては段差があったり、素材や水はけが悪いこともあり、雨があると滑りやすいです。

市長

多摩センターですが、パルテノン多摩の大規模改修や図書館本館の移転の話がありますが、パルテノン大通りの路面についても大規模改修が必要です。駅を降りたところでエスカレーター設置の必要があるのではないかという話もあります。財政的には厳しいですが、高齢化などに対応するため、歩きやすい道の整備や例えば自動運転など新しい時代の交通システムと結ぶことも考えていかななくてはなりません。

Aさん

以前は、八王子の田舎の方に住んでいましたので、多摩市ではすごく便利に住んでいます。今は、家から5分で何でもそろそろ環境です。今日は、自分が知らないことを色々と知ることができたので良かったです。これからは、自分から情報を得る努力をしたいと思います。

※市長より、遊歩道・多摩よこやまの道ガイドマップの説明

市長

山坂は多いですが、遊歩道はフラットに歩けます。これは、国にニュータウン開発の時に2兆円規模の投資をしていただいたおかげでもあります。多摩市の財政だけではできなかったまちです。市民の皆さんが便利に暮らせるのは、国が下水道や道路、橋梁などのインフラ整備をしていただいたのが大きいです。これからも国のバックアップを求めていきます。

※市長より、当日配布パンフレットの説明

市長

本日は、ありがとうございました。今日の皆さんのご意見につきましては、今後の市政の参考にさせていただきます。貴重な時間を割いてお集まりいただき、ありがとうございます

いました。